

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第16回定例会 (平成29年9月定例会)

平成28年度決算	2	一般質問(3人)	7
決算特別委員会	4	議員活動報告	10
議案等の審議	5	編集後記	10

議会広報
平成29年10月
第25号



平成29年度 敬老会 アトラクション 浅水婦人会



川内保育園 「いつまでも元気で長生きしてください。」

平成28年度決算

<財源構成>

自主財源 22.8% (町税など)	依存財源 77.2% (地方交付税など)
--------------------------------	-----------------------------------

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	94億 33万円	91億7316万円	2億2717万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億2237万円	4億1934万円	303万円
	国民健康保険	27億1032万円	25億8026万円	1億3006万円
	介護保険	23億9088万円	22億4248万円	1億4840万円
	下水道事業	3億9717万円	3億9297万円	420万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1299万円	1億1116万円	183万円
	簡易水道事業	1億4442万円	1億4133万円	309万円
	住宅用地造成事業等	630万円	344万円	286万円
	ケーブルテレビ事業	3027万円	2802万円	225万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	27億1406万円	27億 137万円	1269万円	
資本的収支	2億5457万円	4億3701万円	△1億8244万円	

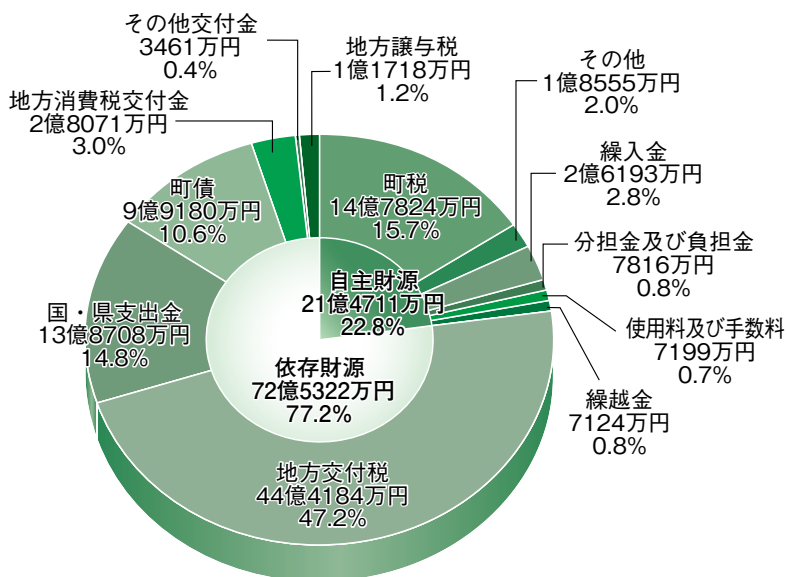
一般会計の自主財源である町税や使用料などは22.8%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が77.2%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)と借金(町債)に頼っています。

平成28年度決算状況

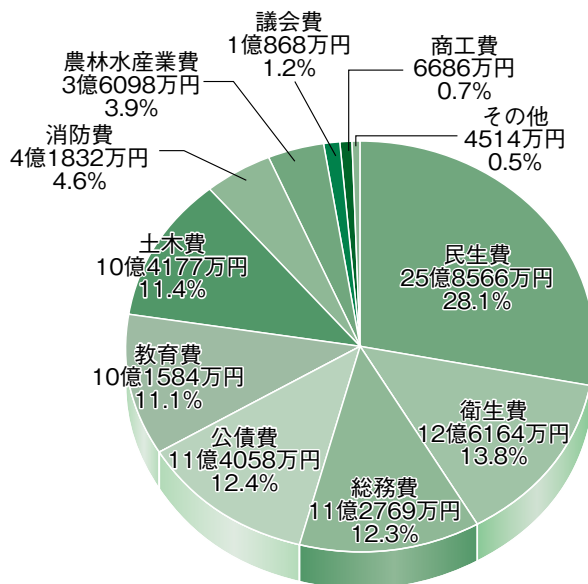
また、歳出の人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費は、歳出全体の39.2%を占め、前年度に比べ6千429万円の増額となりました。

一般会計決算

歳入



歳出



町税等の未収金の状況

区 分	27年度末	28年度末	増減額
町税*	1億2455万円	1億 654万円	△ 1801万円
保育料負担金	37万円	12万円	△ 25万円
五戸台地負担金	485万円	198万円	△ 287万円
給食費保護者負担金	247万円	264万円	17万円
ブドク放牧場使用料	173万円	0万円	△ 173万円
町営住宅使用料及び共益費	89万円	138万円	49万円
土地貸付料	407万円	349万円	△ 58万円
奨学資金償還金	864万円	843万円	△ 21万円
雑入	0万円	3万円	3万円
後期高齢者医療保険料	561万円	450万円	△ 111万円
国民健康保険税	1億8347万円	1億6942万円	△ 1405万円
介護保険料	421万円	306万円	△ 115万円
下水道受益者負担金・使用料	780万円	787万円	7万円
農業集落排水分担金・使用料	253万円	266万円	13万円
簡易水道使用料	709万円	677万円	△ 32万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	157万円	112万円	△ 45万円
合 計	3億5985万円	3億2001万円	△ 3984万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額
 ※翌年度繰越分及び未還付額は除く

未収金(滞納)総額

3億2001万円

平成28年度末の不納欠損処分後の未収金は、3億2001万円、町税と国民健康保険税で86.2%を占めています。また、前年度末に比べ3984万円少なくなっています。

不納欠損処分とは

債務者が死亡し相続人もいない場合や、時効が成立したときなど徴収ができず今後も徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

町債(借金)の状況

会 計 名	28年度末
一般会計	110億3056万円
下水道事業特別会計	27億 5万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	7億8937万円
簡易水道事業特別会計	2億3348万円
五戸町病院事業会計	28億9042万円
合 計	176億4388万円
町民1人当たり	99万円

町債

町財政の借金である町債合計は、176億4388万円、前年度に比べて2億5674万円減額となりました。

「借金 町民一人99万円」

基金

一方、貯金である基金合計は、38億119万円、前年度に比べて1億8331万円増額となりました。

「貯金 町民一人21万円」

基金(積立金)の状況

基 金 名	28年度末	基 金 名	28年度末
財政調整基金	17億9850万円	地域振興基金	10億7487万円
減債基金(地方債償還のための積立)	4億2929万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	378万円
土地開発基金	1億4572万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1億2807万円
泉山教育振興基金	57万円	ふるさと納税寄付金基金	558万円
木村秀政教育振興基金	183万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	4269万円
公共施設等整備基金	141万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
まちづくり特別事業基金	121万円	介護給付費準備基金	6965万円
地域福祉基金	91万円	下水道整備基金	2534万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
人材育成基金	2778万円	ケーブルテレビ事業基金	3011万円
肉用牛一貫経営支援基金	506万円	合 計	38億 119万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：松山泰治議員、副委員長：沢田良一議員)を設置し、平成28年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審査しました。
※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



松山泰治委員長

主な質疑

一般会計歳出

職員ストレスチェック業務委託料

問 高山浩司委員

ストレスチェックを行った結果は。

答 佐々木総務課長

行政職154名に実施。その内高ストレスの診断を受けた職員は28名、全体の18%であり、希望により5名が医師のカウンセリングを受けた。

オリンピック応援事業補助金

問 高山浩司委員

応援グッズの売上げ状況は。

答 佐々木総務課長

約332万円の売上げがあった。グッズは少し残ったが、のぼりは観光行事の際に使用している。東京オリンピックに向けての活動は未定である。

起業・事業化研修会負担金

問 鈴木隆也委員

負担金の内容は。

答 沢向地方創生推進室長

地域おこし協力隊員が東京で行われる研修や講座に参加するための負担金。

五戸町地域づくり事業補助金

問 鈴木隆也委員

五戸町地域づくり事業補助金と五戸地区地域づくり事業補助金の違いは。

答 小村企画振興課長

五戸町地域づくり事業は、旧倉石地区、五戸地

区地域づくり事業は旧五戸地区であり、今年度要項改正し事業を統合した。

空き家管理委託料

問 鈴木隆也委員

委託内容は。

答 沢向地方創生推進室長

町内の空き家を把握するため調査及び情報をデータ化するための委託料。空き家は507件あることが解った。

結婚支援交流の場づくり業務委託料

問 鈴木隆也委員

事業内容は。

答 沢向地方創生推進室長

RABサービスに委託し、五戸で開催されたものであり男性16名女性15名の参加があった。今年も実施予定である。

このへまちあるき事業費補助金

問 鈴木隆也委員

参加人数は。

答 沢向地方創生推進室長

五戸町観光協会に委託している事業で年4回実施された。参加者は延べ28名であった。

五戸町省エネルギー型防犯灯設置補助金

問 三浦俊哉委員

町内の防犯灯の数と自治会からの要望件数は。

答 佐々木総務課長

昨年度は27自治会から要望があったが防犯灯の数は把握していないのでこれから調査していきたい。

農事組合報償費について

問 豊田孝夫委員

報償費を交付している組合数はいくつか。

答 畑山農林課長

64組合に交付している。

鳥獣被害対策実施隊員報酬について

問 豊田孝夫委員

実施隊員は何名いるのか、また狩猟免許取得の際に補助金等あるのか。

答 畑山農林課長

昨年度は34名の隊員に委嘱書を交付し、報酬を支払っている。免許取得の際の補助金については現在はないが検討していきたい。

子ども会育成連合会補助金について

問 高山浩司委員

交付している子ども会の数と金額は。

答 佐々木教育課長

子ども会は34団体で町から一団体5千円交付している。



病院事業会計

入院患者数の増について

岡鈴木隆也委員

入院患者数が増えたことによる看護師の増員はあるのか。看護師の接遇に対する指導は。

安藤総合病院院長

看護師の人数は患者数ではなく病床数で決まっているので増員はない。看護師のスキルを上げることでサービスを維持していきたい。

佐々木総合病院事務局長

看護師には接遇の研修を予定している。



五戸総合病院

第15回 平成29年7月 臨時会

7月4日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	1件	0件	0件

町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

● 町営住宅ひばり野団地
集会所建設工事

・ 株沢田建設

7002万8千円

審議の結果

全員賛成で可決

人事 1件

● 教育委員会教育長の
任命

◎ 柳 町 靖 彦 氏
やなぎ まち やす ひこ

(61歳)



南部町大字剣吉字上平

任期

平成29年7月4日

平成32年7月3日

審議の結果

全員賛成で同意

第16回 平成29年9月 定例会

9月7日から13日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 18件(うち議会案1件)			
原案可決	同意	承認	認定
14件	2件	0件	2件

町長提出案件

報告 4件

● 平成28年度青森県新産業都市建設事業団の決算について

● 平成28年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

● 平成28年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

● 地方自治法第180条の規定による町長の専決処分報告について
(工事請負契約の一部変更)

事業の施行 1件

● 土地改良事業の施行
被災した農業用施設の災害復旧

財産の貸付け 1件

● 財産の無償貸付け
(株)倉石振興公社の事業譲渡に伴う無償貸付け

条例の制定 1件

● このへ郷土館条例の制定

条例の一部改正 2件

● 五戸町指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部改正

● 五戸町防災会議条例の一部改正

条例の廃止 1件

● 夢の森ハイランド条例の廃止

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 7件

● 一般会計補正予算(第2号)

・ 補正額(増額)

3億8483万5千円

・ 予算総額(補正後)

100億5949万

8千円

主な内容

・ 病院事業会計負担金

2億4606万9千円

・ 倉石地域振興公社交付金

1639万7千円

●国民健康保険特別会計
補正予算(第2号)

・補正額(増額) 36万8千円

・予算総額(補正後) 26億6623万3千円

主な内容
・国保システム番号制度
改修業務委託料

●農業集落排水処理施設
事業特別会計補正予算
(第1号)

・補正額(増額) 237万3千円

・予算総額(補正後) 1億1715万2千円

主な内容
・施設維持管理修繕工事
費

●介護保険特別会計補正
予算(第1号)

・補正額(増額) 881万1千円

・予算総額(補正後) 23億470万8千円

主な内容
・介護保険事業計画等策
定支援業務委託料

●簡易水道事業特別会計
補正予算(第1号)

・補正額(増額) 5万9千円

・予算総額(補正後) 1億260万7千円

主な内容
・コンピュータ等借上料

●下水道事業特別会計補
正予算(第1号)

・補正額(増額) 63万8千円

・予算総額(補正後) 4億1962万9千円

主な内容
・通信運搬費

●病院事業会計補正予算
(第1号)

・収益的収入 2億1461万4千円

増の29億7539万5千円

主な内容
一般会計からの繰入金

44万円

人事 1件

●副町長の選任

◎大久保 均氏 (68歳)



五戸町大字切谷内字大森

主な職歴

東京都庁職員
旧福地村役場

企画振興課参事

南部町役場

商工観光課参事

五戸町議会副議長

任期

平成29年9月8日～
平成33年9月7日

審議の結果

全員賛成で同意

追加提出案件

人事 1件

●固定資産評価審査委員
の選任

◎石ヶ森 幹雄氏 (69歳)



五戸町大字扇田字家ノ表

主な職歴

農業

民生委員

任期

平成29年9月20日～
平成33年9月19日

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件

議会議案 1件

●「全国森林環境税」の
創設に関する意見書に
ついて

・内閣総理大臣他関係大
臣あて

審議の結果

全員賛成で可決

平成29年9月8日
本会議において五戸町
議会副議長が副町長の
選任を受け議員を辞職
(議員定数1人欠員)
されたため、新副議長
に指名推選により古田
陸夫議員が決定しまし
た。

古田副議長就任に伴
い民生常任委員会委員
長に川村浩昭委員、副
委員長に川崎七洋委員
が互選されました。

一般質問



鈴木 隆也 議員

◆ガン検診の有効性を高めるための取組みは

病院長 検査の感度を高め、見逃しを防ぐ

質問②

「胃がん10人中4人見落とし」と報道されたが、五戸町健診センターのガン検診は大丈夫か。

答 安藤病院長

五戸町健診センターは、その報道の調査対象になっていない。また、調査結果は少ないデータのものです。信憑性に欠ける。

五戸町健診センターの利用者数の推移と利用者数増加のための取組みは。

質問①

答 佐々木総合病院事務局長

利用者は5年間で664人、11・9%の増。取組みは、日曜健診、女性だけを対象にしたレディース・デイの実施など。また女性放射線技師によるマンモグラフィ撮影を実施し好評。



9月定例会では3人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

◆維持費が増大する倉石温泉の今後のあり方は

町長 費用対効果を考慮し検討していく

質問①

倉石温泉の入浴者数の推移は。

答 服部福祉保健課長

平成7年度の10万人余りを最高に、昨年度は4万2千311人でピーク時の4割程度。

質問②

現段階でボイラー交換工事など、今後合わせて6千万円程度の経費が必要とのこと。また、最近、温泉の汲上げ量が三分の一に減少し、枯渇の恐れもあるとのこと。閉鎖も含めた施設の今後の在り方を検討すべきでは。

答 三浦町長

利用者や地域住民の感情を考えると、すぐ判断できるものではない。費用対効果などを考慮しながら慎重に検討していく。



倉石温泉

◆障がいを持った子どもの保育施設を町内に設置するべきでは

町長 先進事例地を視察し検討する

質問①

障がいを持った子どもの保護者の心のケアはどのように図られているか。

答 三浦町長

「ママカフェ」と称し、保護者と保健師が情報交換できる場を設けている。今後、要望があれば、教育課など他の課と連携して、それに取り組む。

質問②

現在、五戸町には障がいを持つ子どもを受け入れる保育園や放課後児童クラブがない。町内に設置するべきでは。

答 三浦町長

先進事例地を視察し、既存の建物で対応可能か、送迎などのことも含め、検討していく。

◆町民の健康増進を図る取組みは

町長 11月23日、健康フォーラムを開催する

質問①

新事業で「健康アップ事業」を進めているが内容は。

答 三浦町長

来る11月23日、公民館で健康フォーラム「健康宣言」を開催し、町民の健康への意識の改革と高揚につなげたい。

質問②

公共施設での受動喫煙防止の取組みが完全とは言えないが。

答 三浦町長

国の受動喫煙防止に対する法整備の進展も視野に入れながら、段階的に取り組む。



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆まちづくりのためにモチベーションアップツールが必要では

町長 作成に向けて検討

質問②

こういったふるさと教育を小・中学校では、どう教えてきたか。

答 柳町教育長

子どもたちの地域を愛する心、地域を誇りに思う心を醸成するため自分が生まれ育った地域を知

◆五戸三大美肉をイベントに

町長 協議する

質問①

「このへ郷土館」敷地内にある南部鉄道の駅舎で五戸三大美肉を使った駅弁や駅前ラーメンのイベントを開催しては。

答 三浦町長

来年3月に決定する予定の指定管理者や五戸ブランドフード協会と協議したい。

◆八戸市高齢者バスの乗り入れ

町長 八戸圏域連携中枢都市圏に提案

質問①

八戸市の70歳以上の高齢者バス特別乗車証交付事業を利用し五戸町にも来れるようにしてはどうか。

答 三浦町長

市では事業費増が見込まれ財政事情を考慮すると検討を要すると回答。八戸圏域連携中枢都市圏の会議で提案したい。

◆子育てアパート等入居費助成金の減額とは

町長 国の補助に該当しないため

質問①

五戸町若者定住支援事業の中で子育て等アパート入居費助成金の支給が減額変更となっているのはなぜか。

答 三浦町長

している事業で当初、国の地方創生関連の補助金を財源とする見込みで始まったが、補助金対象事業とならず、町単独事業となったため財政的負担が大きくなり減額することになった。

◆地消地産条例を制定しては

町長 乾杯条例を検討

質問①

地消地産をもって経済の自立を図るまちづくりの推進のために条例を制定してはどうか。また五戸総合病院の入院食への地元食材導入は。

答 三浦町長

町で主催する催物は条例を制定し地酒や五戸産のソフトドリンクで乾杯するなど進めていく。

答 佐々木総合病院事務局長

委託業者と検討中。



南部鉄道五戸駅 (S25～S35年代)

議員の皆様には全員協議会を開く前に住民へ周知したことをお詫びします。

平成27年度から実施し



一般質問



とよ たか お 豊田 孝夫 議員

◆五戸町防災計画の見直し作業の進捗状況は

町長 11月の自治会長会議でお知らせする

答三浦町長

地域防災計画は年内に案を作成し、年度内で防災会議の承認を得る予定。

質問④

避難所として頑丈な構造物、シエルターの建設は。

質問③

避難所等の標識設置は。

答三浦町長

避難所の見直しと共に、来年度以降に設置を検討したい。

◆日照不足、低温が農作物に与える影響は

町長 憂慮している

質問①

水稲の生育調査の実施は。

調査は考えていない。

答三浦町長

県が町内2ヶ所で調査しているため町独自の

質問② 果樹生産の生育調査は。

答三浦町長

青森県病害虫防除所において4月から9月まで月1回調査を行っているため、町独自の調査は考えていない。

質問③

販売価格低下による大幅な減収に対する支援制度は。

答三浦町長

県の制度において、収量及び農業総収入が減少になった被害農家に対し資材等の購入資金の貸付を行っている。

日本政策金融公庫では農業経営の再建に必要な資金を低利で貸付する制度がある。町では、自然災害の被害に対する支援として補助金を交付してきた。

今年も被害状況が大きければ支援を検討する。

◆遊休農地(耕作放棄地)、担い手のいない農地の扱いは

町長 遊休農地の情報収集を常に行っている

質問①

農地中間管理機構の利用状況は。

答三浦町長

出し手92件、面積54ヘクタール
受け手107件、面積約525ヘクタールとなっている。

質問②

遊休農地の持ち主に對する意向調査は。

答三浦町長

職員が遊休農地を見つかり、住民から情報が入れば持ち主を調査し樹園地をどうするか意思確認を行い近隣に迷惑にならないよう伐採をお願いしている。

質問③

担い手のいない樹園地への伐採・抜根に対する補助制度は。

答三浦町長

青森県青果物価格安定基金協会及び青森県に補助制度がある。

質問④

農業委員と農地利用最適化推進委員との連携は。

答 右井農業委員会会長

まず両委員が担当区域においてチームを組み農地パトロールを行い共通の認識を持ち農地利用最適化の推進を図りたい。

策定作業完了時期と住民に周知する時期は。

質問②

答 柳町教育長
小中学校の対応は町の校長会で検討したい。

答三浦町長

地域防災計画は自然災害に対するものであり、武力攻撃に対しては五戸町国民保護計画による。

質問①

北朝鮮のミサイル発射など、想定外の事案も盛り込まれているのか。



県下町村議会議員研修

平成29年7月20日、青森市(リンクモア平安閣市民ホール)において県下町村議会議員研修が開催され議員14名が参加しました。

講演

「これからの政局・政治展望」



講師

ジャーナリスト 須田 慎一郎氏



五戸地区議会議員研修

平成29年9月20日、新郷村にて五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成されている五戸地区議会議員の研修会が開催され、五戸町議会議員は15名が参加しました。

視察研修会

- ・新郷村大根集出荷貯蔵施設
- ・木の駅 しんごう

*木の駅プロジェクト

山に放置されたままの間伐材等(林地残材)を運び出して、地域通貨で買い取ることで森と地域経済を元気にする活動。



編集後記

ことしの五戸まつり、町民運動会は幸いにも天候に恵まれました。しかし、夏の低温、日照不足で、農作物への影響が心配されます。

今回の「議会だより」に28年度の決算と関連記事を掲載しました。町民の皆様はどのように受け止めたのでしょうか。

さて現在、国政では10月22日に衆議院総選挙が行われます。前回の五戸町の投票率は39.01%でした。今度是小選挙区が再編成され、18歳以上の有権者数は約1万5600人。(本誌の発行される時には結果が出ていると思います)投票率の増加を期待したいものです。

いま五戸町では「まちづくり」を進めております。町民の皆様から前向きで創造的な、ご意見をお寄せいただき活発な意見を交わす議会にして行きたいと思っております。

委員 三浦 俊哉

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月7日開催予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成30年1月発行予定です。

発行責任者
議長 和田 寛司
平成29年10月27日発行

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
三浦 俊哉	若宮 佳一	鈴木 隆也	川崎 七洋	豊田 孝夫	高山 浩司

広報常任委員会